

サブプライムローン関連商品等の保有状況について

昨年はじめの米国のサブプライムローン債権の延滞率上昇懸念に端を発した国際金融市場の混乱は、現時点においても依然継続しております。ついてはこのような状況を踏まえ、野村アセットマネジメント株式会社が運用しております公募投資信託について、サブプライムローン債権およびサブプライムローン関連商品（サブプライムローン債権を担保として発行された資産担保証券）の平成 20 年 1 月末時点の保有状況についてご報告申し上げます。

記

1. サブプライムローン債権の保有状況

弊社が運用しております公募投資信託に、サブプライムローン債権への投資はございません。

2. サブプライムローン関連商品の保有状況

(1) 弊社が直接運用を行う公募投資信託

弊社が直接運用の指図をしております投資信託に、サブプライムローン関連商品への投資はございません。

(2) 他社が運用する投資信託証券を組み入れる公募投資信託

他の運用会社が運用する投資信託証券を組み入れている投資信託に関しましてサブプライムローン関連商品の保有がございますので、ファンド名とサブプライムローン関連商品の保有比率（平成 20 年 1 月末時点）をご報告いたします。なお、下記以外のファンドに関しては、サブプライムローン関連商品への投資はございません。

① 野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー（NFR&T）に運用の指図に関する権限の一部を委託している以下のファンド

野村ファンドラップ外国債券Aコース	1.3%
野村ファンドラップ外国債券Bコース	1.3%
マイストーリー・株25	0.7%
マイストーリー・株50	0.4%
マイストーリー・株75	0.2%
マイストーリー・株25（確定拠出年金向け）	0.6%
マイストーリー・株50（確定拠出年金向け）	0.4%
マイストーリー・株75（確定拠出年金向け）	0.2%
ハッピーライフファンド・株25（ライフプラン積立て向け）	0.6%
ハッピーライフファンド・株50（ライフプラン積立て向け）	0.4%
ノムラファンドマスターズ世界債券Aコース	0.3%
ノムラファンドマスターズ世界債券Bコース	0.3%
マイストーリー分配型（年6回）Aコース	0.2%
マイストーリー分配型（年6回）Bコース	0.2%
ノムラ・オールインワン・ファンド	0.1%
（対純資産総額比）	

当資料は参考情報の提供を目的としてNFR&Tおよびブラックロック社の情報に基づき、野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【ご参考資料】

NFR&Tによりますと、上記ファンドで保有しているサブプライムローン関連商品は、優先劣後の資産構成や超過担保などにより、格付機関である、スタンダード&プアーズ社またはムーディーズ社から、2月14日時点でそれぞれAAA、Aaaの格付けを付与されております。

NFR&Tは、当該証券に投資している各指定投資信託証券(ファンドが投資する投資信託証券)の運用会社より、今後も各指定投資信託証券にとって最適な投資判断を行っていくとの報告を受けております。NFR&Tは、引き続き各指定投資信託証券における運用状況を把握・分析した上で、ポートフォリオ全体としての銘柄分散や債券種別配分などの管理を重視し、指定投資信託証券の配分を行って参ります。

(出所) NFR&Tによる指定投資信託証券の運用会社へのヒアリングの情報に基づき野村アセットマネジメント作成

- ② BlackRock Financial Management Inc. (ブラックロック ファイナンシャル マネジメント インク：ブラックロック社) が運用を行う外国投資信託(ブラックロック・インカム マスターファンド)に実質的に投資を行う以下のファンド

第1回 野村短期公社債ファンド	4.1%
第2回 野村短期公社債ファンド	4.1%
第3回 野村短期公社債ファンド	4.1%
第4回 野村短期公社債ファンド	4.1%
第5回 野村短期公社債ファンド	4.1%
第6回 野村短期公社債ファンド	4.1%
第7回 野村短期公社債ファンド	4.0%
第8回 野村短期公社債ファンド	4.0%
第9回 野村短期公社債ファンド	4.0%
第10回 野村短期公社債ファンド	4.1%
第11回 野村短期公社債ファンド	4.1%
第12回 野村短期公社債ファンド	4.1%

(対純資産総額比)

ブラックロック社によりますと、同ファンドでは「米国の短期(1年程度もしくは1年未満)部分における利回りの向上」を目的に、サブプライムローン債権を担保とする資産担保証券へ投資を行っており、「短期」で「安全性が高いと考えられる」証券への投資と考えて投資を実行しております。

また、当該銘柄は2月14日時点においてAAA(スタンダード&プアーズ)またはAaa(ムーディーズ)の高格付けの資産担保証券であり、担保構成や信用補完、短い平均残存年数等、ブラックロック社においては信用度が高いと判断し、ファンダメンタルズに関係なく市場で資産担保証券が大きく売られるなか、保有を継続、もしくは新規投資を行ったものです。

(出所) ブラックロック社の情報に基づき野村アセットマネジメント作成

以上

【ご参考資料】

＜ご参考＞ サブプライムローン債権とサブプライムローン関連商品について

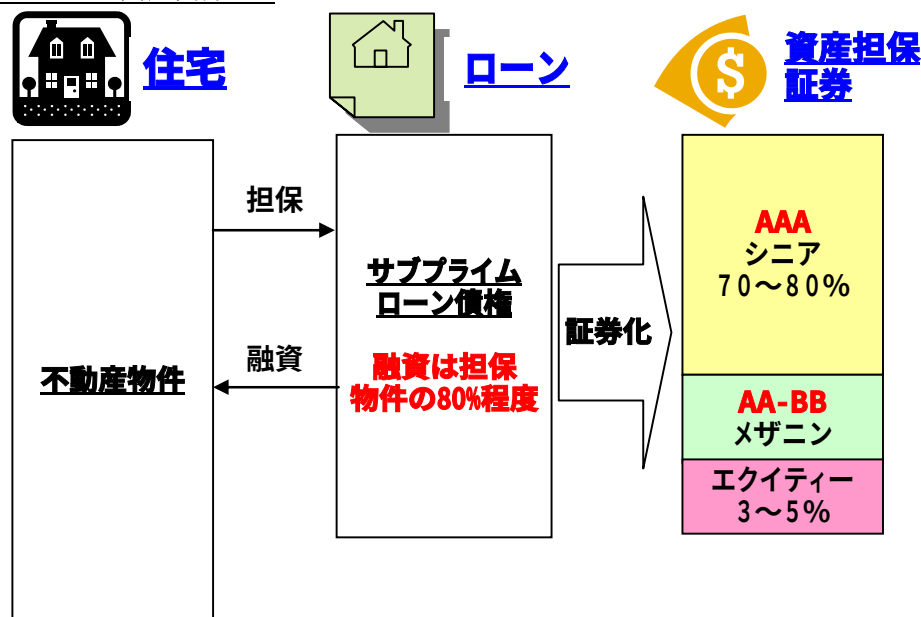
1. サブプライムローン債権とは

米国で行われている信用力の低い個人の借り手に対する住宅ローンのことを指します。具体的な信用力は過去の借り入れ・返済の履歴と現在の借り入れ状況などについての記録を点数化したクレジット・スコアで測定されることが一般的であり、米国の住宅ローン市場のうち 14%程度の規模を占めるといわれています(1.4兆ドル程度:2006年12月末)が、共通の定義などは存在しません。

サブプライムローンは70年代から80年代にかけて、サブプライム層に対する住宅ローンの制度的基盤が整備されたことを受けて拡大してきました。特に近年は(2003年頃から)米国住宅価格の上昇と歩調を合わせる形でその規模を急拡大させています。

サブプライムローンのもうひとつの特徴として、一般的な住宅ローンが長期の固定金利であるのに対して、サブプライムローンは変動金利が基準となっている点があげられます。借り入れ当初の2～3年間のみ低い固定金利が適用され、返済負担が軽減される仕組みとなっていますが、その後は市場金利に対して比較的高めの上乗せ金利が適応されるものが一般的です。

2. サブプライムローン関連商品とは



上記は、米国資産担保証券の一般的な構造を示すものであり、各ファンドが投資する個別の証券の構造を示すものではありません。

資産担保証券は、各種資産に対するローン(貸付債権)を担保として発行されます。アメリカで、主に貸付債権の流動化やオフバランス化を目的として開発されました。また、資産担保証券には様々な種類があり、住宅ローン、自動車ローン、クレジットカードローン、商業用不動産ローンなどの債権を担保として発行されるものがあります。

上記のサブプライムローン関連商品は、資産担保証券の一種であり、担保不動産の時価に対しておおむね 80%程度の掛け目を用いたサブプライムローン債権を証券化した商品です(上記図中の資産担保証券)。更に、証券化されたローンは資産担保証券内で AAA を有するシニア債券と

当資料は参考情報の提供を目的としてNFR&Tおよびブラックロック社の情報に基づき、野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【ご参考資料】

AA～BB 格を有するメザニン債券、格付けを有しないエクイティに細分化され、仮にローンが棄損した場合にはエクイティ、メザニン、シニアの順にその損失を被るといった優先劣後構造となっているものが一般的です。

たとえば前ページのような構造の資産担保証券の場合には、一般に AAA のシニア債券はローンの 20～30%程度が棄損しない限り元利金の受払いは滞りなく行われるといえます。更に、そのローンはローン金額より 20%程度高い実物不動産を担保としていることが多いため、一段の安全性を兼ね備えていると考えられます。

また、サブプライムローン関連商品には、このような資産担保証券をさらに再証券化したものも含まれます。

上記の説明や数値は、米国資産担保証券の一般的な構造を示すものであり、各ファンドが投資する個別の証券の構造を示すものではありません。

当資料は参考情報の提供を目的として NFR&T およびブラックロック社の情報に基づき、野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

〔野村アセットマネジメントからのお知らせ〕

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様の投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては目論見書や契約締結前交付書面を良くご覧下さい。

■投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

申込手数料 《上限 3.675% (税込み)》	投資家が投資信託の買付を申し込む際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時（および償還時）に「換金手数料」等がかかる場合もあります。
信託報酬 《上限 2.121% (税込み)》	投資家はその投資信託を保有する期間に応じた費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。
信託財産留保額 《上限 0.5%》	投資家が投資信託を換金する際等に負担します。投資家の解約等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。
その他の費用	上記のほかに「組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料」「監査費用」「外貨建資産の保管等に要する費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。

（ご注意）

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載していますが、投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に良く目論見書や契約締結前交付書面をご覧下さい。

【ご参考資料】

■ご留意事項

- ファンドは元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。
- 登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金が適用されません。
- 投資信託は保険契約における保険金額とは異なり、受取金額等の保証はありません。
- 投資信託は保険ではなく、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

商号：野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 373 号

加入協会：（社）投資信託協会／（社）日本証券投資顧問業協会

当資料は参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。
